

ふるさと水辺の生き物教室

かしわがわ

柏川



愛南町立柏小学校
南予地方局農村整備課

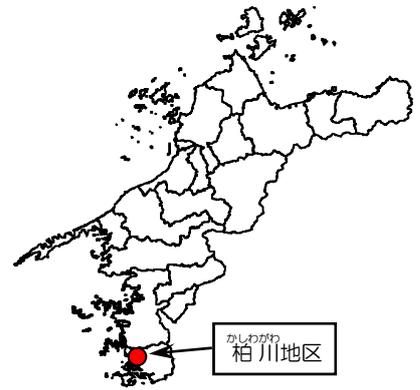
1. 生き物教室の概要（がいよう）

開催日時：平成28年7月5日（火） 9：00～12：00

開催場所：愛媛県南宇和郡愛南町柏

講師：愛媛大学 農学部 日鷹 一雅 准教授
 おさかな館館長 津村 英志 館長

参加者：愛南町立柏小学校 3・4・5・6年 26名
 先生 7名
 地元 2名
 南予地方局 農村整備課 7名
 愛南町役場農林課 4名
 水土里ネット愛媛 4名



2. 地区の概要（がいよう）

愛南町は、愛媛県の南端に位置し、東は高知県宿毛市、北は宇和島市に接し、南は太平洋、西に豊後水道をのぞんでいます。海岸は、足摺宇和海国立公園に指定されているなど豊かな自然環境に恵まれた地域となっています。

柏地区は、旧内海村に位置し、平野が少ない内海地域のなかでは、柏川沿いに平坦でまとまった農地が形成され、水稲のほか野菜栽培が行われています。

東には観音岳を仰ぎ、西には美しい海をのぞむすばらしい自然環境にある柏小学校では、学校教育目標を「心豊かでよく考え、実践力のある柏っこの育成」と掲げ、「明るい子、やりぬく子、感謝する子」（校訓）の育成を目指しています。

ふるさと水辺の生き物教室（柏川地区） 位置図



3. 生き物教室の内容

今回の生き物教室は、開会式を行った柏小学校から北東約 1km 柏川上流の田んぼまで徒歩で移動し、田んぼや水路にすんでいる生き物をさがし、その後、河川に移動して水辺の生き物を採集しました。



○開会のあいさつ（農村整備課 岡田室長）

今日は、田んぼの周りの生き物教室を開催します。田んぼでは、お米が作られていますがお米を作るためには、水が大切です。水は、先祖の方が農業をするために人の手で田んぼにひいてきました。そして、今日に受け継がれています。これは、生き物たちにとっても大切な環境となっています。

愛南町には、コガタノゲンゴロウという希少な昆虫がいます。愛媛県でもなかなか見られない昆虫ですが、愛南町では多く確認されています。こういった、素晴らしい環境であることを知っていただければと思います。

今日は、大変暑いですが、怪我の無いように、調査してください。



○田原校長先生のお話

今日は、お天気に恵まれてふるさと水辺の生き物教室を行います。さて、4年生以上みなさんは、5月に田植えをしましたが、あの時植えた苗がもう 50cm くらいに大きくなっています。9月にはお米ができます。みなさんが住むこの柏地区は、海あり山あり田んぼあり、本当に自然に恵まれたすてきなところです。

田んぼや水路は、お米を作るだけでなく、生き物の大事な棲家でもあります。それぞれの生き物は自分の子孫を残すために、一生懸命ここに棲んでいます。柏には、どんな生き物がいるのか、さがしたいと思います。学校に帰ってきたら、採集した生き物はどんな名前なのか、どんな特徴があるのか、調べていきましょう。みなさんの周りには、大学の先生をはじめたくさんの人達がいて、みなさんの勉強を助けてくれます。今日は、充実した学びの1日にしていきましょう。



○生き物採集

日鷹先生からの生き物を捕る網によって捕り方が異なることや昆虫の幼虫の形などの説明があった後、児童達は網や虫かごを両手に元気よく生き物採集を始めました。



田んぼは、水をはっているため、苗を傷めないよう畦から小さい網ですくって生き物を採集しました。普段は気が付かないような小さな虫にも興味をもって採集するよう心がけました。

カエルの仲間は、アマガエルやヌマガエルのオタマジャクシ、また田んぼの横の用水路ではアカハライモリを多く見かけました。数は多くありませんが、シマゲンゴロウやヒメゲンゴロウなどのゲンゴロウの仲間も採集しました。



次に、柏川に移動し、河川の生き物を採集しました。魚の仲間は、あまりいませんでしたが、エビの仲間が多くいました。テナガエビやヒラテナガエビのほか、ヌマエビを採集しました。

また、水がきれいなところに生息するカワゲラやトビケラの仲間も確認できました。



日鷹先生から、河川に特定外来生物が侵入している話がありました。生き物の採集に併せて、特定外来生物の水草を除去する作業を行いました。



特定外来生物の除去作業



オオフサモ（特定外来生物）

○生き物の同定（名前調べ）、観察

学校に戻り、田んぼや用水路、河川で捕った生き物の名前を、先生や大人の方に尋ねながら各班で調べました。

日鷹先生からは、「捕ってきた生き物たちは大切な命です。捕ってきたことで弱ったり死んだりするかもしれないので大事にしてあげてください。大事にするということは、生き物たちと仲良くすること、生き物たちをよく知ることなので、一生懸命勉強してください。」とお話がありました。

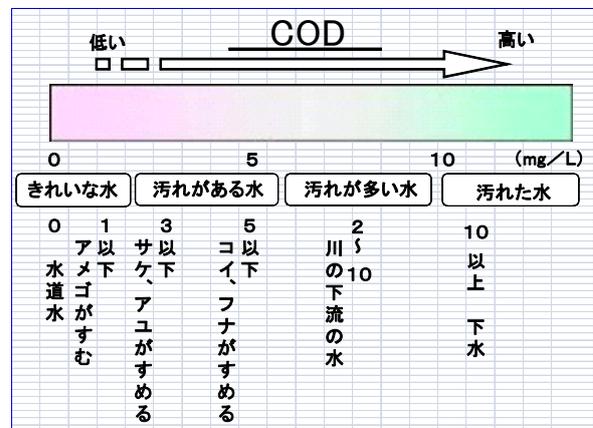
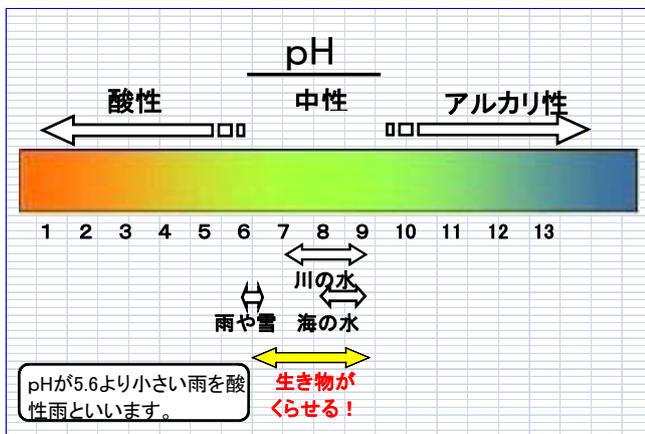
捕ってきた生き物たちを分類した後、児童たちは、興味を持った生き物を選び、観察カードにスケッチや感想を記入しました。



すいしつけんさ
○水質検査

4班に分かれて、田んぼの水や河川の水を使って、pH及びCOD検査を行いました。pH検査は、水質が酸性かアルカリ性かを調べることができ、どちらかになり過ぎていても生き物は棲めません。COD検査は、水の汚れ具合を調べることができます。

田んぼの水と河川の水は、各班で数値のばらつきがみられましたが、簡単な検査で生き物が棲める水か棲めない水かを判断できることを勉強しました。



○生き物講座（日鷹先生）

日鷹先生から、今日捕れた生き物を例に、生き物の多様性について教えていただきました。

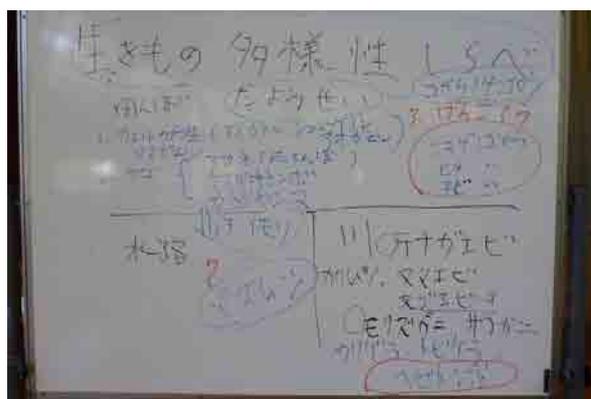
田んぼや用水路、河川などそれぞれの環境によっていろいろな種類の生き物がいます。生き物が一番多く捕れたのは田んぼでした。その中でオタマジャクシが多くいました。オタマジャクシは顔を見ると、アマガエルとシュレーゲルアオガエル、ヌマガエルの判別ができます。次に多くいたのがヤゴでした。ヤゴはトンボの幼虫ですが、トンボにも色々な種類があります。アカネの仲間や、お盆の時期に多く飛ぶウスバキトンボ、カトリヤンマなどがいました。ゲンゴロウは3種類です。シマゲンゴロウとヒメゲンゴロウ、チビゲンゴロウでした。残念ながら絶滅危惧種のコガタノゲンゴロウは見つけることはできませんでした。水路にはダンゴムシの仲間のミズムシという生き物がいました。

川には、テナガエビがたくさんいました。テナガエビは、テナガエビとヒラテナガエビの2種類が捕れました。その他、ヌマエビ、サワガニ、モクズガニが捕れました。

魚については、おさかな館の津村館長からお話がありました。前日から準備していた仕掛けでカワムツ、ボウズハゼが捕れました。去年、1mくらいのオオウナギが捕れたと聞いて、おさかな館が調査にきました。オオウナギは、南の方に生息していて河口付近にいますが、上流の方で見つかったのが驚いています。そのほか、ウナギに関連して地獄とよばれているウナギの仕掛けの紹介がありました。

最後に、日鷹先生から特定外来生物についてお話がありました。

今日、川にあった水草は、特定外来生物です。外国の生き物が入ると日本の生き物に影響が出て生態系が壊れてしまうので問題となっています。こういうものの駆除を地域でするとすごくよくなるとのことでした。



○感想（児童代表 6年生 ^{はまだあいか} 浜田愛果さん）

今日は、お忙 ^{いそが}しいなか、水辺の生き物教室を開いていただきありがとうございました。生き物の種類がいろいろ分かったし、生き物の名前などもたくさん分かりました。これからも生き物についてたくさん調べていきたいです。ありがとうございました。



4. おわりに

柏地区は、山や海に囲まれた自然豊かなところです。今回、主に田んぼと河川を調査しました。田んぼは、農家の人 ^{かたち}が毎年お米を作ることで、形づくられた自然ですが、人の手の入った自然の中に、たくさんの生き物が生息・生育 ^{せいぞく せいいく}していることがわかりました。また、生き物によって棲んでいる場所が異なることもわかりました。よく観察し、自分で調べる ^{りかい}ことによって、農業と生き物への理解が深まったのではないのでしょうか。

今回の生き物教室をきっかけに、生き物や自然、地域の農業など、様々な ^{さまざま}地域の環境に ^{かんしん}関心をもってもらえることを期待 ^{きだい}します。



5. 生き物たち



アカハライモリ



ヌマガエル



ヘビトンボ幼虫



ヒメゲンゴロウ

シマゲンゴロウ



ボウズハゼ



カワムツ



ミナミヌマエビ



ヤマトヌマエビ



テナガエビ



ヒラテナガエビ



カワニナ



カワゲラの仲間



ヤゴ (アカネ類)



ヤゴ (カトリヤンマ)



モクスガニ



サワガニ